

# 京都の福祉

Welfare of the Kyoto

537

2014.4 April

●第2回きょうと地域福祉活動実践交流会開催  
200名の参加で大いに語り合う！

●京都府福祉人材・研修センターをご存知ですか？  
福祉人材を結び・育て・つなぐ

●夢中！熱中！ふくしびと



第2回きょうと地域福祉活動実践交流会での報告

## もえくさ

▼古くて新しい課題がまた顕在化している。NHKで取り上げられた障害者施設建設反対運動である。報道されたのは東京の事例だが、全国各地でこの5年間に約60件、同様の反対運動があり、その内36件は、設置を断念し予定地を変更せざるを得なかったという▼この報道に接して二つのことが思い浮かんた。一つは「ある社会が構成員のいくらかの人々を閉め出すような場合それは弱くもろい社会」と謳った1980年国際障害者年行動計画の一節、もう一つは、最近社会問題化しているヘイトスピーチ(差別・排除の言葉の暴力)。前者は乗り越えるべき社会像、後者は現代日本社会のリアルな一面である▼私たちが「共生社会」をめざすというとき、地域で起こる排除をどのように受けとめ向き合うのか。改めて考えさせられる▼共生するには、先ず地域社会で「共に在る」ことが前提になるが、施設が地域から隔離され、障害のある人と市民が接する機会自体が遠ざけられてきた長い歴史があり、差別や偏見が助長されてきたといわれる▼そうであれば、共生と排除の谷間を埋めていくために、相互に「知る・理解する・認め合う」回路を創ること、対立から対話に向かう一歩を踏み出すことからやり直すしかない▼2月府議会で満場一致で採決された「京都府障害のある人もない人も共に安心していきいきと暮らしやすい社会づくり条例」を新たな一歩のスタートに活かしていきたい。

(NT)



まいど〜宅配センターの送迎自転車  
団地内のシンボルになっています

第2回 きょうと地域福祉活動実践交流会開催

# 200名の参加で大いに語り合う!

**第2** 回きょうと地域福祉活動実践交流会「集合住宅・団地における地域づくり」地域のつながり、暮らしの共同(支えあい)をつくる。(京都府市町村社協連合会・京都府社協主催)を2月1日(土)に大谷大学を会場に開催しました。当日は2月とは思えない穏やかな気候になり、約200名の参加者が講演、報告に耳を傾けた後、日ごろの活動も交えながら意見交換を行いました。

**熱気あふれる会場**

オープニングメッセージ・パネルディスカッションのコーディネーターを務めていただいた大谷大学山下憲昭教授は、近年の少子・高齢化社会の特徴をグラフなどを用いながら話された後、「暮らしの共同性の再構築が自治活動の基礎になる」「日常的な対話と交流、見守り、励まし・支えあう関係づくりが大切」と参加者に語りかけました。

引き続き行われた講演では、東京都武蔵村山市・都営村山団地で商工会による買い物支援を実践されている比留間誠一さん(村山団地中央商店会副会長・武蔵村山市商工会理事)から、「まいど〜宅配セン



団地商店会の取組みについて語る  
比留間 誠一さん

ター」おかげでステーションが地域を結ぶ」と題して4000世帯を超える大型公営住宅の商店街における買い物支援活動について、テレビ番組で放送されたシーンなども交えながらわかりやすくお話しいただきました。大型スーパーや家電量販店などの出店が広がっているなかで、商店街・個人商店の良さとして「電球交換してほしい」「リモコンの使い方がわからない

い」など「身近な商店だからこそできる細やかな気配り」。これができるのは地元商店の強みと話されました。また、自転車での送迎途中で体調の良くない方を発見し、地域包括支援センターと連携して支援を行ったことなどを紹介いただきました。実行すれば見えてくる」という比留間さんの力強い言葉に参加者の多くが頷いていました。

**参加者からの発言相次ぐ活気あるパネルディスカッション**

パネルディスカッションでは、京田辺市府営田辺団地の自治会長郡角治さん、久御山町府営東佐山団地の地域福祉会支部長山室靖さんに府内での実践を報告いただきました。郡さんからは「楽しいことは何でもやろう!」を合言葉に田辺団地における見守り活動を中心とした活動を紹介いただきました。そのなかで「孤独死は突然起こらない。必ず前兆がある。」そのためにも日々の活動がいかに大切である

か、また「活動を活発にするためには拠点が必要」と話されました。山室さんからは「東佐山」団地から孤独死を出さない」という強い思いのなかで始まった「夜間見守りパトロール」(月曜日から金曜日の毎日型見守り)活動の報告がありました。「毎晩、見守り活動をする」と洗濯物を見ても変化に気付くことが出来る。」と言います。

報告のあとの意見交換の場では、参加者から「私の住む団地では自治会活動ができていない。何かいい方法はないか

ろうか」という切実な声に山室さんから「一度、そちらに伺って話しましょうか。」と団地に住む者同士ならではの返答をされました。

報告者の皆さんに会場へのメッセージや今後の夢を伺ったところ、郡さんは「向こう三軒両隣」の大切さを強調され、今後の夢として「団地で高齢者向けの介護サービス付き住宅が作れないか模索中」と話されました。比留間さんは「現在、自転車の2代目を製作中。初代の使いづらかったところ(例えば、コッパぎの買い物バッグを乗せるスペースの設置など)を改良してより使いやすいものにした。」と語られました。山室さんは「何事も行動を起こさないと何も進みません」というメッセージと、今後の夢として「集会所で『おはよう』の声かけができる朝の喫茶をしたい。」と話されました。



地府 府営東佐山団地(久御山町) 山室 靖さん  
府営田辺団地(京田辺市) 郡 角治さん

**府民と共に歩む絆ネットの実現に向けて**

治会役員)「発想の豊かさ、前向きさを学びました」(民生児童委員)など多くの声が寄せられ、反響の大きさを実感しました。また、多くの方の満足感のある表情が見られ、充実した交流会となりました。

3名の講演・報告者の方々の熱い思いが広がった!

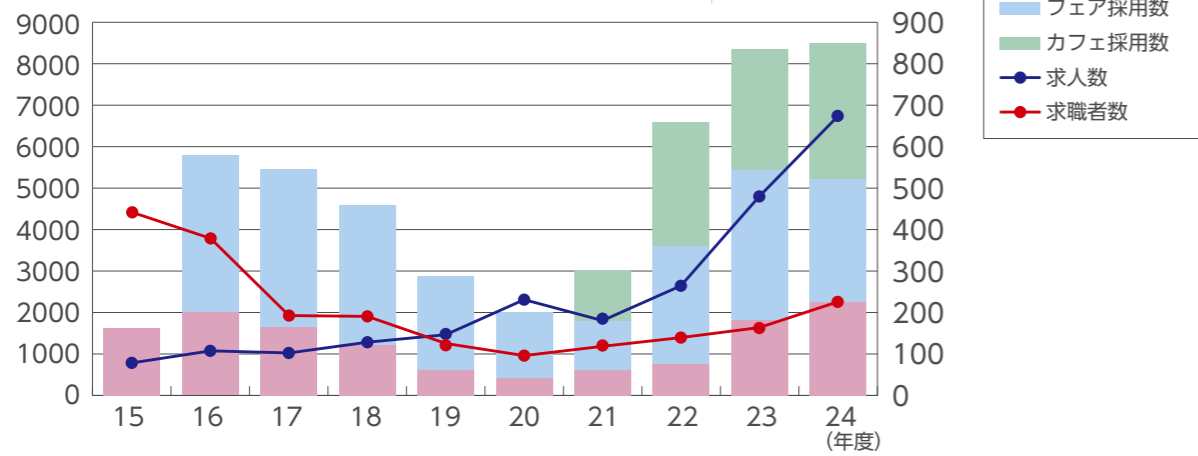
からは、自らの活動への自信と地域の未来について非常に熱い思いを語っていただきました。これからの課題について山下教授は「担い手をどう育てるか」「集会所を拠点とした対話と交流の場づくり」「住民と専門職の上手な付き合い方」をあげられました。参加者からは、「比留間さんの『実行すれば見えてくる』という言葉は本当に実感します。」(自

本会が中期計画であげている「絆ネット」とは、まさに地域にある様々な社会資源が、そこで暮らしている困りごとを抱えた人を真ん中において効果的につながっていく「地域の力」を創出していくことです。今回の交流会では、地域に密着した商店、生活基盤である団地自治会、地域住民による福祉組織というそれぞれの立場から「いかにして集合住宅での暮らしを支えていくか」について報告いただきました。このたびの実践交流会が、今後、京都府内の多くの地域での活動の活性化や、新たな「地域の力」が生まれてくるきっかけになれば幸いです。



大谷大学 山下 憲昭教授  
村山団地中央商店会 比留間 誠一さん

## 福祉人材無料職業紹介事業等実績の推移



福祉職員就職フェアの様子

次に、④の社会福祉事業従事者への研修の実施ですが、当センターでは、平成24年度で46回延べ134日の研修を実施し、合計で4041名の方々に受講いただいています。特に平成24年度からは、全社協提唱の※キャリアパス対応型生涯研修への移行検討も含めた研修体系再編整備を進めつつ、福祉職場における定着支援を目的に、スーパードライバー養成研修、OJTリーダー養成研修公開講座、福

### 福祉の仕事 —継続のための環境整備

年度後半からフェアの参加者数に陰りが見え始め、苦戦を強いられています。

※キャリアパス対応型生涯研修  
福祉・介護職員自らがキャリアアップの道筋を描くことができ、これに応じた自己啓発目標と受講可能な研修の見直しを持つことを支援し、また、各法人・事業所が

新しい年度に入るこの4月の新緑の中で、新しく福祉の仕事に就かれた若者たちと共に思いを新たにしたいと思っています。

その他、法に定める啓発活動、調査研究、経営相談事業等様々な取り組みを進めています。これらは全て、府社協に集い、応援して下さる府内の福祉事業者団体、福祉系大学等との連携・協働事業です。その共通の思いは、景気動向に左右されない安定的な福祉人材の確保にあります。福祉で働こうとする若者にとって、福祉職場が自分も一緒に成長できる職場であることが実感でき、地域社会に貢献できる魅力ある職場であること、そしてより高いレベルでそうなることを目指して共に頑張っていきたいと思っています。

### 京都府福祉人材・研修センターの目指すもの

社職場研修担当者研修などを実施しました。

主体的に職員のキャリアパス（法人や事業所におけるキャリアの進路・道筋）を整備し、これに沿った職員育成施策を確立・実施することを支援する目的に、全国共通・標準の仕組みとして全社協（中央福祉学院）が提唱。基軸科目の「キャリアデザイン」とセルフマネジメント、基礎科目の「福祉サービス」の基本理念と倫理、「メンバーシップ・リーダーシップ」、啓発科目の「人材育成・能力開発」、「業務課題の解決と実践研究」「リスクマネジメント」「多職種連携・地域協働（組織運営管理）」の計8科目から構成される。それぞれの科目を、初任者・中堅職員・チームリーダー・管理者・上級管理者の五階層毎に学び連続性が図られている研修体系。京都府社協では、第三次中期計画（平成24年～26年）の中で、福祉・介護人材の確保・定着を図る観点から、この全社協提唱の「キャリアパス対応型生涯研修」の導入を図ることにしています。



福祉従事者の研修の様子

# 福祉人材を結び・育て・つなぐ

## みなさんは京都府福祉人材・研修センターをご存知ですか？



のぼり旗がお迎えするロビー

みなさんは  
京都府福祉人材・研修  
センターをご存知ですか？  
地下鉄烏丸線丸太町駅の上にハートピアという建物があつて、その地下1階に看板が立っています。京都府内の福祉人材の確保・定着・育成を行う京都府社会福祉協議会の組織です。福祉人材・研修センターは、社会福祉法の規定に基づき全都道府県に各1か所ずつ、知事の指定を受けて設置された組

織で、京都府では、平成5年4月1日に指定を受けて業務を開始してから21年目を迎えます。社会福祉法では、センターの役割は、①啓発活動 ②調査研究 ③社会福祉事業者が行う処遇改善、資質向上、人材確保などの措置の実施に関する技術的事項についての相談・援助 ④社会福祉事業従事者・従事しようとする者に対する研修の実施 ⑤社会福祉事業従事者の確保に関する連絡 ⑥社会福祉事業に従事しようとする者に対する就業の援助等を行うと定められています。

### 福祉の仕事を目指す方に 仕事を紹介します

まず⑥の就業援助ですが、当センターでは平成5年8月から厚生労働大臣の許可を受けて無料職業紹介事業を実施しています。グラフは、当センターのこの10年間

の求人・求職者の実績推移ですが、求人数が平成21年度から急激に上昇に転じ、平成24年度では有効求人倍率が3倍に近くなっています。（25年度は3倍を超えています。）このような状況の中で、当センターでは福祉事業者の方々と一緒に就職フェアを開催したり、南部・北部に福祉人材カフェを設置するなどの取り組みを通じて850名の採用者を確保しましたが、24



窓口の求職・求人相談



執務中の安田局長

**仕事を始めたきっかけ**  
記者時代に取材で福祉関係の人に会ったことで、直接人の暮らしに関わる仕事がしたいと入職しました。

**やりがいやエピソード**  
一人暮らしの高齢者の方やサービスの利用者の方、民生委員さんや福祉委員さん、ボランティアさんとの関わりや、障害者の方のサロンなどさまざまな方との出会いは、それぞれ発見や変化もあり今振り返ると大切な思い出です。また、直接接点がなくとも、「ありがとう」の言葉

葉をいただいた時はやりがいを感じます。出会いは運命であり、人はそれぞれの人生を歩んでいます。楽しいことばかりではなく、辛く、悲しい事もありますが、そうした事を受け止めて、「雲の上には青空が」の気持ちで、日々感謝し、歩みたいのです。

**ターニングポイント**  
平成16年の6町合併。組織も大きく変化した最初は戸惑いもありましたが、人の繋がりが広がったことは財産です。もう一つは、東日本大震災で宮城県名取市の災害ボランティアに支援に行ったことです。現地は想像を絶する被災状況にありました。そのような中であって、前向きに業務をされる現地の職員やスタッフの皆さんの姿、共に支え合う活動など「地域の力」の構築の大切さを改めて学ばせていただきました。

**今後の抱負**  
生活困窮や社会的孤立の問題など新たな役割も求められています。社協は全国にたくさん仲間がいます。地域においても様々な団体や機関、住民の皆さまなど幅広い繋がりがあがるのが強みです。

「誰のため」、「何のため」の仕事なのか常に振り返りながら、人の心の痛みや声に耳を傾け皆さんと共に歩んで行きたいです。



市内の福祉職員さんと

## 夢中! 熱中!

だから続けたい この仕事  
ふくしびと

福祉の現場で働く人たちの熱い思い・メッセージを伝えるコーナーです。京都府内で「熱い福祉」を「夢中」で実践している方々にスポットをあてて、元氣や楽しさ、やりがいを「生」の声でお届けします。

## 人とのつながりを財産として

# 誰のため、何のための仕事なのかを常に振り返る

## 安田 秀俊さん

●やすだひでとし  
施設名: 社会福祉法人 京丹後市社会福祉協議会  
事業所住所: 〒627-0111 京丹後市弥栄町溝谷3450 京丹後市弥栄庁舎内  
HP/URL: <http://www.kyoshakyo.or.jp/kyotango/>  
TEL.0772-65-2100 FAX.0772-65-3294  
職 種: 事務局長  
経 験 年 数: 26年(平成26年4月時点)  
▶好きな言葉: 和顔愛語  
▶夢中になっている事: 読むこと・聴くこと・歩くこと

## 宮津市社協

# みやっぴー

## プロフィール

名 前: みやっぴー  
誕生日: 2010年9月10日  
性 別: ひみつ  
血液型: ひみつ  
体 重: みかん3個分  
性 格: 正義感が強い。涙もろい。おっちょこちょい。  
住 所: 京都府宮津市宇鶴賀2085 福祉センター内  
ボランティアルームって部屋にねぐらがあるよ  
特 技: 困っている人をハートのアンテナで発見すること。  
趣 味: ボランティアさんとお茶を飲むこと  
好 物: みつばつつじ・宮津ちくわ



## 第一印象と可愛さで勝負

宮津市社会福祉協議会では、社協を多くの方に知っていただき、身近に感じてもらえる「見える社協」をテーマにマスコットキャラクターを一般公募し、94点のデザインの中から「みやっぴー」が誕生しました。平成23年には「みやっぴー」の認知度を高め、福祉への関心や社協への理解、地域福祉の推進につなげるために「みやっぴーファンクラブ」を結成。現在276名の方に応援をいただいています。ファンクラブの第1弾の事業として、福祉はもちろん、子育て支援や観光にもつながるような、みやっぴーの絵本を製作し、無料配布しています。

他にも企業や行政と連携した4コマ漫画のネット配信、地元の高校生の絵による宮津市社協のシンボル看板ができました。また、クリアファイル(一般150円・ファンクラブ会員130円(売上金の30円を東日本大震災の復興支援として寄付))を限定2000枚作成し、販売中です。

今後は新たなみやっぴーグッズや着ぐるみを制作し、みやっぴーを通じて地域福祉の推進につなげていきたいと考えています。

## デザインは…

宮津市のMの擬人化をモチーフに『しあわせ・ささえあい・やさしさ・ぬくもり・ふくし』をイメージしたハートのアンテナをあしらい、明るい未来に踏み出す姿・自らボランティア活動に参加する躍動感を表しています。

## 愛称は…

「みや」は宮津市の「宮」、「ぴー」はhappy (ハッピー)の「ぴー」を意味し、みんなに幸せをもたらすボランティアの皆さんをイメージして考案されました。



▲みやっぴーのクリアファイル



▲みやっぴーの絵本

## 福祉事業を始めるなら

# 賠償責任保険は必須です!

福祉事業者総合補償制度  
「まごころワイド」をおすすめします。

充実の賠償責任補償制度、  
安価な傷害見舞金補償制度など  
必要なプランを組み合わせでご加入いただけます。

福祉専門チームによる安心の事故対応、  
京都府社会福祉協議会が提供する福祉の現場に合った内容です。

詳しい補償内容はこちらまで

福祉の保険「まごころワイド」取扱代理店

京都の総合保険代理店 **SRM** 株式会社 エスアールエム

専用TEL **075-822-8613**

福祉の保険ホームページ [www.srm-net.co.jp/smile/](http://www.srm-net.co.jp/smile/)

引受保険会社: 三井住友海上火災保険株式会社

この広告は保険の特徴を説明したものです。詳しくは商品パンフレットをご覧ください。

ボランティア活動には「ボランティア保険」イベントを開催される際には「福祉行事保険」も併せてご利用ください。

### 寄付 福祉車両の寄贈 ありがとうございました

平成26年2月10日(月)ハートピア京都にて京都府生命保険協会の車両寄贈式が行われました。京都府生命保険協会では社会貢献活動の一環として、生命保険会社の募金を基に、福祉巡回車の寄贈を毎年行っておられます。本年は京丹波町社会福祉協議会へ車両が寄贈されました。



### 寄付 ご寄付 ありがとうございました

平成26年2月20日(木)に近畿陸運協会様より700,000円のご寄付をいただきました。ご芳志の趣旨に沿い活用させていただきます。ありがとうございました。

### 相談 「きょうとハート基金」を ご存知ですか？

災害時に福祉施設を支え合うために

「きょうとハート基金」は、福祉施設や企業の経費(光熱水費など)をクレジットカードで支払うことで、利用額に応じたポイントを基金として積み立て、福祉施設に助成するという仕組みです。助成は、災害時の施設復旧や防災・減災の取り組みなどが対象となります。災害時に公的財源では賅えない復旧経費を、施設間で相互に支え合うために、また想定外の事象への備えとしても、多くの福祉施設や企業に導入を呼びかけています。

ぜひこの機会にクレジットカードでの支払いの変更をご検討ください。

詳しくは本会までお問い合わせいただくか、本会ホームページ(きょうと福祉パートナー事業・きょうとハート基金 <http://www.kyoshakyo.or.jp/f-partner/fund/>)をご覧ください。

TEL.075-252-6291

### 案内 何でも経営相談

気になること、困ったこと、お気軽にお電話ください

京都府経営協では、福祉施設の運営や経営面をサポートするため、経営指導事業を実施しております。

- 社会福祉法人の新会計基準への移行はどう進めたらよいか…
  - 職員の休暇や休職・復帰の扱いで悩んでいる
  - 法改正を伴う事項、就業規則をどう見なおせば？
  - 利用者(家族)とのトラブル
  - 賃金体系を見直したい など
- 何でもお気軽に下記までご相談ください。

曜日 毎週月～金(祝日及び年末・年始除く)

時間 午前10時～午後4時

TEL・FAX.075-252-6301

### 案内 安心して暮らせる地域づくりのパートナー 京都府社協では賛助会員を 募集しています！

本会は社会福祉法に基づき設立された社会福祉法人です。京都府の地域福祉を推進する民間団体として、「福祉で地域づくり」を合言葉に、住み慣れた地域でだれもが安心して生活できる、そんなまちづくりをめざしています。ぜひ、「賛助会員」として、本会の活動をご支援ください。

**重点事業 ～市町村社協、民生児童委員、社会福祉施設等と連携・協働して推進しています～**

- 声かけ・訪問活動や居場所づくりの推進事業、見守り活動団体のネットワークづくり
- 低所得者、障害者や高齢者の世帯を対象とした生活福祉資金貸付事業
- 判断能力に不安のある方のお手伝いをする福祉サービス利用援助事業
- 施設等の福祉サービスに従事する人材の確保・定着・育成 など

**会費額(年額)**

- 賛助会員 個人 1□5,000円、法人 1□10,000円 で希望□数

**賛助会員の特典**

- 本会発行の機関紙「京都の福祉」(年8回発行)をお送りします。府内の福祉の最新情報がお手元に届きます。
- 全社協出版部発行の福祉図書が割引価格で購入できます。
- 社会福祉大会など本会主催の講演会等のご案内を差し上げます。

**賛助会員についてのお問合せ・お申込先**  
京都府社会福祉協議会 総務部総務課  
〒604-0874 京都府京都市中京区竹屋町通烏丸東入ル清水町375

TEL.075-252-6291 FAX.075-252-6310  
HP <http://www.kyoshakyo.or.jp/introduction/introduction4/post-2.html>

### 案内 施設の新築や増改築を考慮おられる 社会福祉法人の皆さまへ

#### 府社協では低利による 融資を行っています

本会では、京都府内(京都市を除く)の社会福祉法人に対し、「施設整備等融資金貸付事業」を行っています。貸付対象事業には次のようなものがあります。

- 社会福祉施設の新設や増築費用
- 社会福祉施設の修繕や改築費用
- 固定設備や屋外設備、器具等備品の整備費用
- 施設の新設等を行うための土地取得費用
- (独)福祉医療機構の貸付金や地方公共団体の補助金が交付されるまでのつなぎ資金

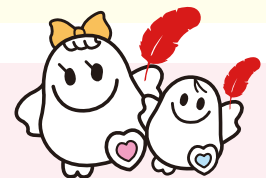
貸付限度額は50,000,000円(特養のみ100,000,000円)、償還期間は10年以内で、貸付利率は、(独)福祉医療機構の貸付利率を適用しています。なお、この融資金は(独)福祉医療機構と併せて借入することが可能です。貸付事例として、保育園舎の耐震化に向けた改築やグループホームの増築、設備の老朽化に伴う取替工事等への貸付があり、これまでに60以上の社会福祉施設にご利用いただいています。詳しくは、本会ホームページ(市町村社協・福祉事業者の方へ)をご覧ください。本会までお気軽にご相談ください。

TEL.075-252-6291

- 「京都の福祉」へのご意見、ご感想、とりあげてほしいテーマなどをお寄せください。表紙の写真も募集中です。(テーマ「笑顔」)
- 本会へのご意見等は、下記URLの「お問合せフォーム」を通じてお寄せください。  
<http://www.kyoshakyo.or.jp>

京都府社協

検索



本紙は、共同募金の配分金によってつくられています。